



REINANZAKA SCOUT CLUB



2012年
3月25日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403
ホームページ <http://reinzakasc.cocolog-nifty.com/>
<http://reinzakasc.o.oo7.jp/>

No.42

気が合う仲間と一緒に

ブラウニーリーダー 瀬川 紫穂



私がガール
スカウトに出
会ったのは小
学1年生の頃
でした。母に連
れられ教会を

訪れた時、歌を唄いゲームをした
り楽しそうに活動する同年代の少
女たちの輪の中に気付いたら溶け
込んでいました。

自分を表現する事が苦手だった
私ですが、色んな意見や考えを持
つ友人やリーダーがおり、毎週土
曜日の集会や春ハイキング、夏キ
ャンプを通しそれらを共有する事
で人間的に成長する事が出来たと
実感しています。

ガールスカウトに決められた活
動は特にありません。「自己開発」
「人との交わり」「自然と共に」と
いう3つのポイントを大切にしてい
活動しています。友人と時には意
見衝突する事もありましたが、
それも今となってはいい思い出と
なりました。スカウト時代から、
リーダーとなった今でもスカウト
時代に経験したことはとても役に
立っていると感じています。

私は15年間の学生生活が終わり、
社会人となりますが、スカウ
ト時代に培った何かを企画し実行
する力はこの先とても自分の力と
なり財産となるでしょう。

B Pが残した言葉にもある、「自分
から何かアクションを起こせば、そ
れがたとえ小さいものだとしても、
必ず何かを変えたり動かしたり出来
る」という事を学べた事がこれからの
人生に役立つものでした。リーダ
ー経験がまだまだ浅い私ですがリー
ダーの立場となった今でもスカウト
の心を忘れずに、何事も楽しく前
向きに取り組む精神は大切にしてい
ます。

引っ込み思案だったスカウトが夏
キャンプや発表の場を通していつ
の間にか成長していたり・・・思わ
ずかつての自分の姿をスカウトに重
ねてみたり、「待つ」事の難しさに直
面したりとまだまだ課題は山積みだ
と感じています。しかし、皆それぞれ
違う個性を持ったスカウトと関わる
事でその子ども達の成長や、新た
な一面を見る事が出来るので大変
ですがとてもやり甲斐を感じてい
ます。

自分がスカウトだった時、リーダ
ーはいつも私たちスカウトを見守
ってくれた事を思い出し、それと
自分の今の姿を照らし合わせなが
スカウト一人ひとりと向き合い、
スカウトの思いを引き出していき
たいと考えています。

ガールスカウトは人に役立つこと
をいつも心にかけて、それを喜びと
しています。どんな状況にあっても、
自分が果たすべき役割を察知し、

*The real way to get happiness is by
giving out happiness to other
people.*

*Try and leave this world a little
better than you found it.*

Last Message to Boy Scouts



ベーデン・パウエル卿の言葉

幸せになる本当の道は、他の人を幸
せにすることである。貴方がこの世
の中を受け継いだ時より、少しでも
良くするよう努力しなさい。

行動に移します。ガールスカウトに出
会ったからこそ、私は今の「私」で
いられ自分に大きな自信を与え成長
出来たのだと思っています。

いつも私達のことを見守ってくださ
り、少し怖かったリーダーからスカウ
ト精神を受け継いだ様に、現在リーダ
ーである私からスカウトへ、その精神
を伝えていけるよう努力しています。

毎週土曜日の週に一回、顔を合わせ
る仲間ですが、これからもこの繋がり
を大切にしようと思います。そして
いつまでもスカウトの心を忘れずに、
色んな事にチャレンジし自分の可能性
を発見できればと思います。

2012年度・霊南坂スカウトクラブ総会報告

2012年2月19日(日)スカウトサンデーの午後、スカウトクラブ提供のトランペットとパイプオルガンでのチャペルコンサートに続いて1階ホールにおいて2012年度総会を下記の通り開催しました。

司会 倉持雅人 会長挨拶 小崎忠雄、

議案 2011年事業報告 田中新二、 2011年決算報告 大槻敬太郎、 監査報告 日下部英一、
2012年事業計画案 田中新二、 2012年予算案 大槻敬太郎、

上記議案について全会一致で承認されました。

続いての懇談の席上、久しぶりの総会参加者から近況報告がありました。

2011年事業報告

2011年度は6月に「スカウトの安全をまもる」リーダー向け安全講習会を開催。8月にはBS那須野営場で東日本大震災の被害にあった福島県の小学生を対象にスカウトクラブ得意の「にこにこレストラン」を開設しました。ホームページの充実で海外に住む会員からもアクセスが増えました。クラブ会報の配布と共に登録会員の増強に励みました。

2012年度事業計画

- 1月21日 スカウト合同 「餅つき大会」
- 2月19日 スカウトサンデー礼拝・「トランペットとパイプオルガンのチャペルコンサート」
スカウトクラブ総会
- 3月25日 クラブ会報 NO. 42 発行
- 4月28日 霊南坂スカウト65周年記念礼拝・祝会 「にこにこレストラン開店」
- 6月23日 リーダーに役立つ講習会(救急救命講習会一赤坂消防署予定)
- 8月 ボーイ・ガールスカウト 各団キャンプ
- 9月10日 ボーイ・ガールスカウト合同キャンプファイヤー
- 10月6・7日 港区民祭り
- 20日 教会バザー
- 15日 クラブ会報 NO. 43 発行
- 12月 8日 スカウト合同クリスマス

2011年度決算報告

霊南坂スカウトクラブ 2011年度決算報告
(2011年1月1日～2011年12月31日)

収入の部				単位:円
科目	予算額	決算額	備考	
前年度繰越金	700,462	700,462		
年会費	330,000	300,000	3,000×100口	
入会金	10,000	0		
賛助金・寄付金	60,000	66,450		
広告収入	18,000	18,000	6,000×3件	
雑収入	25,000	42,360	バザー売上、チーフ売上、	
受取利息	300	97		
(今年度収入)	(443,300)	(426,967)		
合計	1,143,762	1,127,369		

支出の部				単位:円
科目	予算額	決算額	備考	
教会感謝金	30,000	30,000		
事業費 (事業費内訳)	295,000 (45,000)	300,088 (45,200)	スカウトサンデー	
	(60,000)	(58,380)	会報印刷費	
	(20,000)	(20,000)	スカウト研修会補助金	
	(160,000)	(100,000)	現役スカウト支援	
	(20,000)	(13,371)	安全講習会	
	(50,000)	(63,137)	震災被災児童支援ニコニコキャンプ	
通信費	100,000	122,450	秘会案内・会報郵送料	
事務費	25,000	18,034		
会議費	25,000	29,150		
雑費	10,000	10,000	西脇先生経別	
雑費	5,000	7,140	ボロシャツ代	
小計	490,000	516,872		
次年度繰越金	653,762	610,497		
合計	1,143,762	1,127,369		

次年度繰越金内訳 現金 49,138円 郵便貯金 568,359円 郵便振替 9,000円
上記の通りご報告申し上げます。

2012年2月19日

スカウトクラブ基金	
昨年末残金	645,092円
受取利息	158円
収上	13,000円
今年末残金	658,250円

会計監査の結果適正に処理されていることを認めます。

霊南坂スカウトクラブ 会長 小崎忠雄
会計 小林孝江
大槻敬太郎
浅田きよみ

会計監査 日下部英一
柳健一

2012年度予算案

霊南坂スカウトクラブ2012年度予算(案)
2012年1月1日～2012年12月31日

収入の部			支出の部			単位:円
科目	金額	備考	科目	金額	備考	
前年度繰越金	610,497		教会感謝金	30,000		
年会費	450,000	3,000×150口	事業費	455,000		
入会金	19,000	1,000×19口	(事業費内訳)	48,000	スカウトサンデー	
賛助金・寄付金	200,000	65周年記念事業の為		60,000	会報印刷費	
広告収入	12,000	6,000×2件		100,000	現役スカウト支援	
雑収入	25,000	バザー売上		200,000	65周年記念事業	
受取利息	100	郵便貯金利息		20,000	救急法講習会	
				30,000	新しい事業	
			通信費	120,000	教会通知、会報発送	
			雑費	25,000		
			会議費	25,000		
			雑費	10,000		
			雑費	5,000		
			雑費	5,000		
(今年度収入)	697,100		支出合計	670,000		
合計	1,307,597		次年度繰越金	637,597		
			合計	1,307,597		

上記の通り2012年度予算(案)をご提案申し上げます。

2011年2月20日

会長 小崎忠雄
会計 小林孝江
大槻敬太郎
浅田きよみ

スカウト基金現在高 645,092円。

スカウトクラブ年会費改定の件

霊南坂スカウトの特色として兄弟、姉妹、親子など同居家族でメンバーの方が多くいになっています。

郵便代の節約のため、会報など諸通知を連名で発送して、経費を抑えることが出来ています。

そこで、年会費を2013年度分より、下記のように改訂する案を役員会より提出、全会一致で承認されました。

年会費 一人3,000円(現行通り)

同居家族(住所が同じ)の方は2人目より一人2,000円とする。



今日は、スカウトサンデーとして、スカウトの活動を覚える礼拝を守っています。

スカウト運動を最初に始めた人はベーデン・パウエルという人です。彼の父親は、教会の牧師でした。彼が住んでいた所は、山や湖や川が近くにある自然豊かなところで育ち、キャンプなどの様々な経験をしました。その経験がとても良かったので、自分と同じ体験を多くの人にしてもらいたいと思って、スカウト運動を始めたのです。

ベーデン・パウエルさんの最後のメッセージが残っています。「幸せを得る本当の道は、ほかの人に幸せを分け与えることにある。この世の中を、君

が受け継いだ時より、少しでも良くするように努力し、あとの人に残すことができるように、そのために『そなえよつねに』を忘れず、大人になっても、いつもスカウトの誓いと掟を、かたく守り給え。」

一人の少年の大切なお弁当。それは私たちの小さな思い、小さな捧げものかも知れませんが、それが一度イエスさまに差し出されるならば、大きく、豊かにされるのです。実はイエスさまも自分の一番大切ないのちを私たちのために差し出してくださったのです。それが十字架です。

教会には十字架があります。なぜでしょうか。それは、ぼくたち私たちが神さまのいのちの道を歩むように、イエスさまが十字架にかかってくださったことによるのです。

教会はイエスさまが中心におられる家族です。私たちの手の中にあるもの、それがどんなに小さく僅かであっても、イエスさまの前に差し出されると、イエスさまに祝福され、豊かなものに変えられるのです。イエスさまと共に生きるならば、私たちの本当に必要なものはすべて満たしてくださるのです。

「さあ、これから共に生きよう」イエスさまは呼びかけておられます。この呼びかけに答えて、今日からの歩みを始めましょう。



霊南坂スカウト「発団 65 周年」のお知らせ

60 周年の祝会を盛大に行ってから早くも 5 年が経ちました。

昨 2011 年には想像を絶する震災という出来事に遭遇し、自分たちを取り巻く環境について再度見つめ直すこととなりました。

霊南坂スカウトとして 65 年を歩んできた私たちは、この運動をとおしてこれから何が出来るかを考える大きな節目の年にしたいと思っております。様々な思いを込めてボーイスカウト・ガールスカウトの 65 年を祝う礼拝と祝会をささやかですが下記の通り開催いたします。

スカウト活動に関わった皆様のご参加をお願い申し上げます。

記

日時 2012 年 4 月 28 日(土) 16 時～20 時

場所 霊南坂教会礼拝堂及び 1 階 (スカウトクラブによるレストラン開設)

霊南坂教会にボーイスカウトとガールスカウトが出来たのは、第二次世界大戦後間もなくでした。東京は焦土と化し、人々は自分たちが生きていく事で精一杯で気持ちが荒廃していた時代でした。在日中のアメリカのボーイスカウトだったマーチン・ウィリアム氏と霊南坂教会員の今井裏二氏が、スカウト運動の意義を信じ霊南坂教会の当時の牧師・小崎道雄氏に教会を育成団体としたスカウト団の設立を要請しました。そして、1947 年 2 月 22 日にボーイスカウト東京第 4 隊(現東京 港第 1 団)の最初の集会在もたれ、同年 6 月 11 日にはガールスカウト東京都第 4 団が発足したのです。

スカウトの精神は「他の人に幸福を与える事が私の幸せになる」という創立者ベーデン・パウエル卿の言葉で言い尽くせます。また、「大自然の神秘を通じ、無意識のうちに人の心や生活の原点を知り、信仰心を養い、生活に対する積極的な取り組みをする人間をつくらう」との言葉のように、精神を養う場として野外生活を取り入れ活動しています。

2012 年 3 月

ボーイスカウト東京連盟港第 1 団 杉原正
ガールスカウト東京都第 4 団 古谷久代
霊南坂スカウトクラブ 小崎忠雄

スカウトクラブから「トランペットとパイプオルガン」によるコンサートをプレゼント



北村源三先生とスカウト達

トランペット ボーイスカウト隊 小原 晋

学校の音楽の授業以外に音楽を聴いたり楽器を演奏したりという経験があまりない私は、生のトランペット奏者の演奏が聴けるといわれても特に関心がなかったというのが本音だった。

しかし実際に聴くトランペットの奏でる音は澄んでいて、そして迫力があって、ひきこまれるものだった。いつも歌っている団歌も演奏してもらったが、とてもきれいでかっこよく聴こえた。

またトランペットにも色々な種類があり、音の高さも違って聴いた時の印象が全く違うというのも今回初めて知った。

トランペットに限ったことではないが、プロ（プロでなくても上手な人）というのは、人を感動させることができるのだ。

僕も一つのこと打ち込んで人を感動させることのできる何かをこれから見つけたいと思う。

心に残る響き スカウトクラブ 小田島典子

スカウトサンデーの午後、礼拝堂にトランペットとパイプオルガンの音色が響きわたりました。

日本を代表するトランペット奏者、北村源三先生と霊南坂教会オルガニスト飯靖子さんによるチャペルコンサートはバッハの「カンタータ147番」から始まりアンコールの「霊南坂スカウト団歌」まで、その音の響きの虜になり、礼拝堂の高い天井や壁に思いのこもったトランペットの音色が反響し私たちの心を癒してくれました。

スカウト達はトランペットを触ったり、吹いたりさせて頂き、楽器の仕組みや音の出し方など小さなスカウトたちにもわかりやすく教えてくださいました。

終了後のCD販売では直筆のサインを一人ひとり丁寧にしながら参加者の思いの感想に気さくに耳を傾けてくださる姿がとても印象的でした。

それぞれが忙しい日々や思い悩むことの多い現代社会ですが、このように素晴らしい時を与えて下さった全ての方々に感謝した素敵な一日でした。

感想 ボーイスカウト隊 矢野智大

*教えていただいたこと

トランペットは口を振動させ音を出す。そして、トランペットの音程を変える方法は二つあり、一つ目は口の振動をかえて音程をかえる方法。二つ目はボタンで変える方法がある。ボタンは0.5音下げる、1音下げる、1.5音下げる機能をもっている。ということをお教えました。

*演奏について

パイプオルガンとトランペットだけであんなに奥深くきれいな音が出せるという事に驚きました。クラシック音楽という言葉で思い浮かぶことは大人数で楽器を弾くということでした。ですが二つの楽器ですごくきれいな音が出ていてすごかったです。

昨年はストリングラフィー、ことしはトランペット、毎年すごい企画なので来年が気になります。

団歌の演奏は

Youtube の2012スカウトサンデー、avi で検索してご覧になれます

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ ハイグレード カタログ リーフレット パンフレット 格安 名刺 その他広告& DM 販売促進ツール
デザイン・印刷
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブン・センス CALL 03-3583-0877

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F

FAX 03-3589-5181

Mail info@7sense.co.jp





今回、私は「ガールガイド香港連盟 95 周年記念国際キャンプ 2011」にガールスカウト日本連盟を代表して、東京都連盟所属のレンジャー9名、リーダー2名で参加しました。

期間は12月21日～28日の7泊8日でしたが、大変盛りだくさんのスケジュールで充実した8日間を過ごすことができました。キャンプ前の21日から23日はホームステイ（香港ガールガイドの自宅）、23日～27日は西貢での国際キャンプに参加、そしてキャンプ後の27日～28日は香港のB-Pインターナショナルホテルに一泊し、参加メンバーとキャンプの振り返りをしました。

香港は2000年までイギリス領であったこともあり、スカウト活動が盛んです。また街の一等地にB-Pホテルが建っており（ボーイスカウト創設者であるRobert Baden-Powelのイニシヤルです）、一般の人も宿泊することができます。なんとホテルロビーにはパウエル氏の肖像画が飾られています！

今年は香港のガールガイドが95周年を迎え、このキャンプも記念行事の一環として行われました。香港の東に位置する西貢の棧橋からさらに船で30分の創興水上活動中心Chong Heng Water Sports Centrehttpで行われ、香港から約1000名、中国本土から120名の他、日本、韓国、マレーシア、シンガポール、モルジブ、オーストラリア、デンマーク、イギリスのガールスカウト、約120名が参加しました。

キャンプ最終日の26日はオープンデーで、参加者以外のスカウトや家族やゲストなど、1600人が集まりました。この日、日本の代表団は浴衣を着て、フォーメーション重視の現代版「花笠音頭」を披露したところ大盛況でした。

このキャンプの参加を通じて、私は、おきての第三条、「私はすべての人と友達となり、他のガールス

カウトとは姉妹です。」の本当の意味を、初めて知ることができました。なぜなら、日本にも、世界にもたくさんの友達をつくることができたからです。これまでの私にとってガールスカウトといえば、団の中での活動という狭い範囲のものでしたが、香港に行って、「ガールスカウトの仲間は世界中にいる」ということを実感できました。

派遣に行く前、私は「世界」という広い視野を持っていませんでしたが今回、世界中のガールスカウトと出会い、スカウト仲間ということで、すぐに友達となることができました。そして帰国後はface bookを通じて交流を続けています。つい先日はオーストラリアのスカウトから「ガールスカウト100周年事業に関して、あなたの団でやっている活動を教えてほしい」という質問がきました。

私は世界中のガールスカウトと媒体だけではなく、心でも繋がっていることを誇りに思います。そして香港派遣を通じて、自分が起こした小さな活動であっても、世界中の姉妹と協力することで、世界をいい方向に変えることができると確信するようになりました。

また、今回BPハウスに滞在し、香港でのスカウト活動が日本と比べものにならないくらい認知度が高いことが分かり、日本でのガールスカウトの認知率を上げたいと思っています。

最後に、香港派遣の機会を与えて下さったガールスカウト日本連盟の皆さま、東京都連盟の皆さま、リーダーと派遣の仲間たち、そして4団の役員の方々や仲間たちに感謝致します。今回の派遣で得たことを今後のガールスカウト活動に生かし、国際的な視野をもったリーダーになり、4団の活動に還元していきたいと思っています。





宗教章を取得するにあたり、ボーイスカウト関係者の皆様、教会関係者の皆様から数えきれないほどご指導と格別のご支援を賜りました。なによりもまずお礼を述べさせていただきますと思います。

今回の宗教章取得は、ゴールではなくスタートであると考えております。これで終わりにせず今後もスカウト活動と教会での活動に積極的に参加し、更に自分を高めて他の人々の支えとなれるよう努力をする所存です。

私は宗教章をいただいたことで、ちかいとおきてを守ることを改めて決意致しました。常に誠実な人であるということはとても難しいことだと思います。ついつい嘘をついてしまったり、なげやりになってしまったり、そして自分のことで手一杯になっていると、他の人に目を向けることができなくて、困っている人に手を差し伸べることができなくなりがちです。そんな自分の弱さを「神様がいつも見ていらっしゃる」という意識を強く持つことで克服し、徳を養うことで力にしていきたいと思ひます。

今回の宗教章取得という出来事が、私の意識を一段階上のステージへ押し上げたように感じます。

私は六本木で生まれ育ちましたので、小さい頃は霊南坂幼稚園と教会学校に通っておりました。

ビーバースカウト時代からお世話になっている方々が沢山おおいでになり、教会には「家」のような居心地の良さを感じます。そんな居心地の良さを後輩スカウトたちにも感じてもらいたいと思っておりますので、その思いを軸にスカウト活動を続けていけば、ボーイ

スカウトと教会の更なる飛躍に繋がると信じておりますので、これからも己を磨き、徳を養っていきます。この度は本当にありがとうございました。



僕は、1月7日から9日までの日韓スカウト交流プロジェクトに参加しました。このプロジェクトは日本を訪問する韓国スカウトの出迎えと、両国スカウトのコミュニケーションを兼ね成田のホテルで行われました。

日本人スカウトとも初対面なので、日本人同士でもコミュニケーションがうまくとることができませんでした。しかし、顔を会わせてから1時間後に1班6人のところに同じ人数の韓国人スカウトがやってくると、つい先ほど会ったばかりだった日本人と話をすることがとても多くなりました。

僕たちの班は英語を話せる者が少ないので通訳の人が入る班でしたが、2泊3日のうちに通訳の人が入ったのはたった1日だったので、話が伝わらないもどかしさと、いかに伝えるかという創意工夫が求められました。僕たちの班では、日本人と韓国人がそれぞれ話し合っ、それぞれの意見を出し合うという結論になりました。

2泊3日の間に両方の国のスカウトは、とても以前からの知り合いのように仲良くなることができました。とくに日本人のスカウトとはコミュニケーションをとり続けて、いずれは16NJなどのイベントでもう一度一緒に活動をしたり、共に集会を行いたいと思ひます。

今回このプロジェクトに参加して、コミュニケーションをとることの難しさと言葉の壁を強く感じましたが、それは身振り手振りや伝えようとする気持ちで乗り越えられることを経験しましたので、この経験を年下のスカウトに伝えて今後のスカウト活動に活かしたいと思ひます。

また機会があればこのプロジェクトに参加をしたいと思ひます。

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SILMAUTA PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00



遅くなりましたが皆さん新年明けましておめでとうございます。2012年の皆さんのご活躍をこころからフランスより（Parisより下、南西600km Toulouseの近く）お祈りいたしております。

今までもう春が来るのではないかと思わせられるようなお天気が続いていましたが、今朝やっと零度。来週は朝-2~3℃になるらしく（午後は+6~7度）ホッとしています。やはりこの地方では檜の木（この地方には沢山ある）やその他の木々、植物には一年一回の冬の寒さは必要です。

又私の住む周囲は檜の木の根の周りよりFranceの有名なTrufflesが獲れます。このTrufflesを捜すには、昔はTrufflesの好きな豚を使ったり、またはTrufflesがある所に卵をうみに来る特殊なハエ（ウジがTrufflesを食べて育つ）を目当てに捜していましたが今は殆ど訓練した犬が捜します。私の2匹の犬（写真）もTrufflesを捜すように訓練しましたので11月~3月頃まで多くの人に頼まれてTruffles探しに出かけます。Trufflesを通じて多くの人々との交際範囲が広がり嬉しことです。

いつも霊南坂スカウトクラブ会報を楽しみに読ませて頂いております。今年も沢山の写真、News載せて下さい。

トゥールーズの情報

フランスで6番目の大都市。コンコルドやエアバスなど航空宇宙産業の拠点であり、また1229年創設のトゥールーズ大学を中心に7万人以上の学生を擁する学問・研究都市の顔も持つ。

ローマ時代にさかのぼる古い歴史があり、9世紀にはトゥールーズ伯領として華やかな中世文化が開花。ルネサンス時代には藍染料や穀物の交易で大いに繁栄した。

旧市街にはガロンヌ川でとれるピンク色の粘土からつくった赤レンガの家並みが軒を連ね、「バラ色の街」との異名をとる。現在は美術館として利用されているアセザ館など、瀟洒な邸宅も数多い。

さあ、今日は楽しいミーティングだ。
あの頃の 快活なスカウトだった
なつかしい仲間たちが
久しぶりに顔を合わせたんだ。

にぎやかに話がはずみ
明るい笑い声がひろがるよ。

そりゃ、社会に出てみれば、
そういつも、愉快的話がある訳じゃない。
腹の立つ時も、
泣きたくたる程辛いこともあったさ。

でも、今日は楽しいミーティングだ。
あの頃の、快活なスカウトだった
なつかしい仲間たちが
久しぶりに顔を合わせたんだ。

ほがらかに歌声ひびき
陽気な手拍子になりわたるよ。

そりゃ、大人になってみれば
そういつも、面白い事がある訳じゃない。
ゆううつな日も
くやしくて眠れない夜もあったさ。

でも、今日は楽しいミーティングだ。
あの頃の、快活なスカウトだった
なつかしい仲間たちが
久しぶりに顔を合わせたんだ。

にぎやかに話がはずみ
明るい笑い声がひろがるよ。
ほがらかに歌声ひびき
陽気な手拍子になりわたるよ。

（霊南坂スカウト20周年記念誌から矢澤宏子さんが見つけてくれました。）

志水 功さんは

年少隊初代隊長。

1947年、霊南坂スカウト誕生と同時に初代ワシ班々長。作詞・作曲・編曲と全ての部門に天才的才能を発揮。4団の団歌や「憩い」など現在4団で歌われている歌の作詞・作曲者。

現在北海道で獣医師として活躍中。



奥島孝康

ボーイスカウト日本連盟
理事長
日本高校野球連盟会長
早稲田大学元総長

高校球児の一言

昨年3月11日の東日本大震災と二次災害というべき原発事故は、その災害の規模の大きさと政府・東電の対応の下手際とにより、日本全国国民を打ちのめした。

その直後の3月18日、第83回選抜高等学校野球大会を開催するかどうかを決定する運営委員会は、きわめて

緊迫した空気の中で開かれた。ぼくは開催を固く心に決めて会議に臨んだが、予想通り冒頭から強硬な反対論が出て、一時はどうなることかと思っただが、最後は全員一致で開催が決定した。

3月23日の開会式の会長あいさつは全国国民の注視の的となるに違いない。ぼくはキーワードをどうするか考えあぐねた結果、ようやく、不運に泣くイギリスのサッカーチーム「リバプール」の応援歌の一節「ユール・ネバー・ウォーク・アロン(君たちは決して1人で歩くわけではない・俺たちがついてる)」をキーワードとするあいさつを作成し、被災地の方々に対するメッセージとすることにした。

ところが、ぼくの心配はまったくの杞憂に終わった。

1995年阪神淡路大震災の年に生まれた創志学園の野山慎介キャプテンの選手宣誓は、「人は仲間に支えられることで、大きな困難を乗り越えることができると信じます。私たちにいまできること、それはこの大会を精一杯元気を出して戦うことです。

がんばろう！日本。生かされている命に感謝し、全身

全霊で正々堂々とプレーすることを誓います」というもので、全国民に感動の輪が広がった。そして、それまでの沈滞した空気は一変し、「がんばろう！日本」の大合唱が始まった。1人の高校球児の選手宣誓が日本中を元気づけたのである。

野山君だけではない。ボーイスカウト日本連盟の理事長として、東北の被災地を視察・激励に出かけると、続々とボランティアの若者たちが駆けつけ、汗を流している。ぼくは感動し、そして確信した。「いまどきの若者もすてたもんじゃないな」と。

亡国の兆しに見える日本で、未来の希望の確かな手応えを感じたと思った。

しかし、それくらいのことで糠喜びをするつもりはない。厳しく鍛えられた野山君のような、ぼくたちの未来を託することのできる「たのもしい若者」をいかに育てるかを考えると、現状は暗澹たる想いとらわれる。では、どうすればよいか。ぼくは、そのための正解を用意しているわけではない。けれども、一つの解答は、知性のみではなく、野性を磨く必要があるということではないか。そのことをこの連載で考えてみたいと思う。

かつてローマ人は、「平和を欲するのであれば、戦いに備えよ」を合言葉に大帝國を築いた。ローマ人にとり「平和は訓練」であった。日本の未来を確かなものにするためには、「たくましい若者」を育てなければならぬ。いま緊急を要するのは、未来に備える人づくりではないか。

高橋弘長兄からの知らせで「財界」2012年2月21日号より連載中の記事を転載しました。
当会報は年2回発行ですので、以後は「財界」を購読ください。

2012年3月2日 慶応ローバースカウト B-P Scout Peakに登頂成功



Baden Powell Scout Peak

ヒマラヤ山脈中部、ネパールのランタン国立公園内にあるベーデン・パウエル・スカウトピーク(5,718m)に日本のローバースカウトが挑戦し、3月2日無事登頂成功しました。

挑戦したのは慶應ローバーの長島昌木君(東京・小金井第1団)と、中大ローバーの海老澤允伸君(清瀬第2団)の2人。海老澤君は高山病の症状のためベースキャンプで待機となり、ネパールのスカウト連盟のサポートによるシェルパチームとともに、長島君が無事登頂しました。

B-P・スカウトピークは、2007年、スカウト運動100周年を記念して名づけられたキノコ状の山で、これまでオーストラリア、韓国、フィンランド、ネパール、シンガポール、中国(台湾)のスカウト22人が登頂に成功しています。

このプロジェクトの詳細は・遠征登山計画書 http://www.rovernet.jp/paxiv/upload/BP-Peak_plan.pdf で知ることが出来ます。

恒例 お餅つき



おもちつきに参加して

カブスカウト隊 くまスカウト 増田友紀

ぼくは1月17日のおもちつき大会でおもちを21個食べました。きなこが7個で、のりもちが14個です。とてもおいしかったです。どうしておいしかったかという、ガールスカウトの人とボーイスカウトの人とみんなでついたおもちだからです。

教会の先生が、みんなで力を合わせてついたおもちをいっしょに食べることは大切なことなんだとお話してくれました。ぼくも、しんさいで苦労している東北のみんなを思い出しながら精いっぱいおもちをつきました。そして1日でも早くしんさいから復旧することを願いながらおもちをたくさん食べました。それから、ガールスカウトとカブとビーバーでハンカチ落としをして遊びました。

楽しい1日でした。

スカウト クリスマス



クリスマスページェント

カブスカウト隊 しかスカウト 申 隆一

今年のクリスマスページェントは少しきんちょうしました。それは、僕がイエス様の誕生の物語をナレーターとして、みんなの前で最後までまちがえないで話さなくてはならないことと、その日は木村君がげきの始まる時間に間に合うかどうかわからなかったので、木村君の分もやらなくてはならなかったからです。でも、時間までには木村君が来てくれて、僕は自分のナレーターの分だけをやることになったので、安心して最後までしっかりやることができました。だから、終わった後のクリスマス会はいつもよりとても楽しかったです。

これからも毎年このように皆でクリスマスのげきをいっしょにやれるといいなと思っています。隊長やリーダー、お父さん、お母さんありがとうございました。

返信はがき

(総会開催のご案内から 近況・・抜粋)

石田隆一

西桜小学校からの Boy たちも本年喜寿を迎えます。当時の仲間とも会うこともほとんど無くなりましたが、皆さんはどうなのでしょう。

高橋弘長

一病息災の生活です。会社勤め（株）世界貿易センタービルディング）がもう暫く続きそうです。

ワイボール・ルリ子（村越）

日本に帰って3年半たちました。すっかり生活にも慣れ、やはり日本は住み易いと日々実感しております。

百塚正恵

いつもありがとうございます。変わらず仕事をしています。

大塚多恵子

皆様常にご苦労さまでございます。自分がやっていた時の事を考えますと、協力をしなければと思いますが、毎日仕事に追われ申し訳ないと思っております。

浦野須磨子

港1団育成会員。宇宙少年団、未来MM分団の分団長をしています。青少年たちと科学や宇宙の事をしています。

檜垣君子（鈴木）

心臓病児の通所訓練事業をやっています。0～3才位の就園前の病児が母子通所しています。その他難病の子どもを持つ親のための電話相談員、病弱養護学校の全国PTAの事務局で福祉相談員をしています。

川並光昭

3年前より入院生活を送っております。参加が出来ず残念です。

河合潤子（萬井）

ほんの僅かですが、AJ-SEPのお手伝いをしております。

山崎亜子 (伊藤)

申し訳ありません。3月のニコニコキャンプの準備の為欠席させていただきます。

縣まり子 (五十嵐)

孫が今カブスカウトに所属しています。

高橋準一

現在73才ですが体調が思わしくなく、残念ながら欠席させて戴きます。

関山真理子 (川)

昨年4月主人と2人スペインからヨットで地中海を廻る旅をスタートしました。10月末にトルコまで行き初年度の旅は終了しましたが、又4月から地中海2年目のクルージングを予定しています。自然相手、中々思うようにはいかない事もありましたがのんびりと焦らず旅を楽しみたいと思っています。

「ヨットてまり」のblog.とHPです。
<<http://pub.ne.jp/ksek0408/>> <<http://www10.plala.or.jp/yacht-temari/>>

臼井純一

現状は、上海にて仕事と中国語の学習を続けております。クラブの活動に直接役立つ分担は出来ませんが、陰ながらお手伝いさせていただきます。

遠藤斗紀雄

1月に頸椎症の手術をしてリハビリ、やっと社会復帰出来ました。

大中誠・太郎

父・息子とも元気です。太郎は今年30才になり、私は来年60才ですが、やることが沢山あり、BPのおかげで充実した人生を二人とも送っております。自分の持てる幸せをいつも他の人に与えることを心がけています。

岡田茂

ご無沙汰しております。会長小崎忠雄様によろしくお伝えください。

牧野暉子 (花崎)

地域のボランティア活動をしております。

九鬼隆甫

泉州の片田舎で晴耕雨読の日々を過ごしています。なかなか上京の機会がなく会合等に出席出来ませんが送信していただいているメールで活動の様子を見せていただいています。

吉田恵子 (大塚)

毎年バザーの時だけのお手伝いですがみません。いつもスカウトへのご奉仕ありがとうございます。

大岩 久 (志水)

筋力のおとろえで、高齢者(後期)を実感しています。

芹野朝子 (小崎)

ご無沙汰致して居りまして申し訳ございません。お元気でご活躍の事と思えます。スカウト誕生65年を心から嬉しく感謝しております。日曜日は教会の礼拝諸集會等があり(丁度19日は教区の地震報告会開催予定)なかなか留守にすることが出来ませんので残念乍ら欠席させていただきます。私も86才になりますが、お陰さまで元気で甲東教会の教会主事として、教会の定例の集會に出席、会員の方々の問い合わせ・会員のお誕生カード発送などその他雑用に働きまわっております。 在 主

脇村茉莉子

近いのに中々出席出来ず失礼してお

ります。霊南坂スカウトクラブのご発展を祈っております。

真木壮一郎 (マイク真木)

年寄りのデジ化はクタクタです。最近デジ爺と呼ばれています。

山田紀代 (堀越)

昨年は2度の手術を受け病院とすっかり仲良くなってしまいました。今は自宅で当たり前主婦業できることをとても幸せに感じています。3月に入ったらJリーグ開幕…今のうちに体力をつけてスタジアム通いを楽しみにしています。

佐藤八重子 (小鹿)

いつもHPで見て、皆さまのご活躍を嬉しく、楽しく見ております。中々参加出来ませんが、ご発展を心よりお祈り申し上げます。私もGS青森県連盟第1団(弘前)のSCAPPで〜す。

菊田方晴

小学生の時入隊し、あれから65年夢のようです。数々の貴重な体験をさせていただき、今あることを感謝しています。霊南坂スカウトが元気に活躍されていること嬉しい限りです。時折体調悪くすることありますが、何とか無事に過ごしています。スカウトクラブの日頃のご活躍に敬意を表します。みなさまのご健勝を祈念申し上げます。

どんしん

SHOT BAR

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に
お立ちください
詳しくは、電話かホームページで
<http://www.donshin.jp>

日曜定休
PM 6:00~

目黒区祐天寺 1-22-2 2F
03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です

Map showing the location of Shot Bar near Yutensji Temple (祐天寺) in Ebisu, Tokyo. The map includes labels for 'P' (parking), 'Ebisu Station', 'Yutensji Temple', and 'Shot Bar'.

志水 功

スカウトクラブの日頃のご活躍に敬意を表します。みなさまのご健勝を祈念申し上げます。

小柳末利 (中川)

昨年秋に引っ越しました。娘が4月から1年生です。

森下あつ子 (高田)

内科医として実家の診療所と他の病院に勤務しています。

佐藤 馮

元気に過ごしております。近頃は力が衰えストーブ用の薪割りも一部は人に頼む様になりました。家庭菜園も縮小しブルーベリーとみかんを植え手の掛からないもので自然と親しんでおります。

杉原 正

いつもスカウト活動をご支援いただき感謝いたします。体調と相談しながらの日々です。今年は創立65周年を迎えることになり皆様のご協力にお礼を申し上げます。65周年を機に団委員長を退任します。日本連盟についても役員を退任し、顧問に就任し、昨年度「先達」の称号をいただき、これからもお役に立つことがあればお手伝いをしたいと思っています。年末に遠山兼宏さんと電話し、ご本人は元気で過ごされている様子でした。小生、これから先は日本連盟の先達・顧問としての講演などのお手伝いをしていきます。

片岡 孝

欠席で申し訳ありません。今回も所属団 VS (隊長) CS (副長) の活動があり欠席となります。4月に64才となり、5/16からはサンデー毎日の生活となります。

松下俱子 (三木)

元気に過ごしております。

笹本信子 (中田)

息子はもうすぐ1才になります。毎日が発見の連続です。今年もスカウトクラブ通信を楽しみにしていま〜すよよろしく申し上げます!!

田付茉莉子 (大内)

青山学院大学経済学部を来年度いっぱいまで定年になり、さらに1年非常勤をつとめると、大学の仕事からフリーになります。日本経営史研究所は、まだ続きますが、2014年になると、相当自由になれそうで楽しみにしています。

青木義明

指の不自由さと声の出し難いのはありますが、元気にゴルフとテニスに励んでおります。

斎藤忠雄・芳子

夫婦共に70代になりましたが、幸い健康に恵まれ元気に過ごしております。カブスカウトが6組もあつた時代に、その6組のでんマザーをやらせて戴きました。当時のスカウトの皆さんも今は40代でしょうか。共に活動した清里のキャンプ等懐かしんでおります。楽しかった大切な思い出です。

半田貴久

体調をくずして今リハビリ中です。
(日キ) 南湖教会へ毎朝オルガンの練習に行きます。(南湖教会オルガニスト) 暮れの23日に小崎忠雄さんのお姉様白戸道子さんと南湖教会の子どもたちのクリスマス礼拝と Combinir di Corista のコーラスの日にご一緒しました。

小崎公平・美恵

相変わらずです。一番下の娘も今年4月には小学校入学。スカウト活動を楽しみにしています。

渡辺 誠

亀虫の多い年は雪も多いと言われている。今年に入って雪又雪。積雪も2.5mを過ぎて、なお降っています。そんな中、スキーを楽しみ、故障した機械の修理とけっこう忙しく暮らしています。

金森勝芳

商売の方は大変厳しくこれから先、生き残れる見通し全くありません。次の世代に継承出来るように今しばらくがんばります。

飯田誠子

一昨年7月に緑内障、昨年2月に白内障と同じ左眼を手術したのを機にバドミントンは止めました。ガールスカウトも一応リーダーの名で登録しています。教会の聖歌隊と宗教音楽の合唱などで結構出ることの多い暮らしです。

遠山兼宏

特にありません。変わらないことを「良し」と思っています・・・が月日、時間は確実に経過それにともない、世の中も移ろいます。加齢と共にその差を感じています。地域(住んでいる所)の差でもあるかも?

天ぼう 玉家

営業時間
11:30~14:00
18:00~21:00 予約
定休日
日・祭日

〒140-0004
東京都品川区南品川4-6-3
電話・FAX: 03-5460-5519

高玉 大が調理します

霊南坂スカウトクラブ 告知板

ガールスカウトのリーダー備後さんがコンサートを開きます。

日本の歌～春の夜に～

唱歌 童謡 日本歌曲 長唄
日本語の魅力をお届けします
日時: 2012年4月18日(水)
18:30 開演 / 18:00 開場
場所: MUSICASA ムジカーザ
出演

備後千春(貴音 康春) [ソプラノ・三味線]
岩崎 孝昭 [エレクトーン]
里地 帰 [二胡]
貴音 康寿 [長唄]
貴音 康花乃 [三味線]

お問い合わせ・チケットのご予約は
備後千春までご連絡下さい
info_p@yadanuki.sakura.ne.jp

霊南坂スカウトクラブ役員会

会長	小崎忠雄
	霊南坂教会役員会議長
副会長	田中新二
	クラブ会報編集長
副会長	西郷崇子
会計・団	大槻敬太郎
会計	小林孝江
会計	浅田きよみ
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信・団	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP・blog	澤田明秀
広報・HP・blog	臼井純一
教会・団	古谷久代
	ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳 健一

皆様の参加をお願いします

4月28日(土)の霊南坂スカウト65周年の祝会では恒例のシェフに扮した我々でレストランを開店します。スカウト達の喜ぶ顔を楽しみながら、私たちもこのイベントを楽しみましょう。

感謝申し上げます

この霊南坂スカウトクラブの「会報」に広告を掲載して、会報の製作費用の一部を負担頂いている「どんしん」の大槻兄、「てんぷら玉家」の高玉兄、「島唄楽園」の西石垣姉、「戸田クリーナーズ」の戸田兄、当会報を印刷している「セブンセンス」の清水兄にスカウトクラブより深く感謝申し上げます。

尚、新たな広告を募集しております。

スカウト活動の一環として皆様の御協力をお願いいたします。
サイズ: 11.3×8.2cm
掲載料: 1回3,000円×年2回予定
広告デザイン、製作はスカウトクラブでも行います。
御相談下さい。

これからのスケジュール

4月28日 65周年記念礼拝・祝会
「ここにレストラン開店」
6月23日 救急救命講習会(予定)
9月10日 合同キャンプファイヤー
10月20日 教会バザー
15日 クラブ会報 NO. 43発行
12月8日 スカウト合同クリスマス

スカウトクラブの情報は ブログ

<http://reinzanaka-sc.cocolog-nifty.com/blog/> 担当: 澤田明秀

ホームページ

<http://reinzanaka-sc.o.o7.jp/> 担当: 臼井純一
です。随時更新して、新しい情報を提供しています。

~~~~~  
スカウトクラブのメールを開設しました  
御意見、情報、ホームページ、会報などへの投稿は下記にお寄せください。

reinzanaka-sc@nifty.com 田中新二

### 編集後記

日常生活の中で、スカウト活動で培った技能と精神で行動している自分にふと気付く時があると思います。

スカウトクラブはそのようなスカウト活動での素晴らしさを互いに確認しあい、その証として現役のためのイベントを行い、ホームページや会報を発行しています。

少子化や受験などでスカウトの数は減少しています。

私たちのこの素晴らしいスカウトの体験を子供や孫に、更には地域に広げ、奥島孝康BS日本連盟理事長が提唱されている「知性のみではなく、野性を磨き」未来を託することのできる「たのもしき若者」を育てたいと思います。

読者諸氏の御意見と、スカウト活動への思い、各地各国での状況と御自身の近況をお寄せ下さい。

この紙面を交流の場としてスカウト育成の一助にしたいと考えております。皆様の投稿をお待ちしています。

田中新二

**TODA CLEANERS**

# 戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032  
東京都港区六本木1-3-41 (アークヒルズサイド1F)  
TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022  
東京都目黒区柿ノ木坂3-4-9  
TEL: 03-3422-5538 FAX: 03-3421-3034